

健康通信

2024年8月15日

NO. 34

コロナ感染症 第11波

《10月から新型コロナワクチン接種開始》

10月1日からさいたま市では、さいたま市に住民票のある市民に対し**インフルエンザワクチン**と**新型コロナワクチン**の接種が始まります。

■インフルエンザワクチン接種

- ・65歳以上の高齢者
- ・自己負担額 1600円程度
- ・予約不要

■新型コロナワクチン接種

- ・65歳以上の高齢者、60～64歳の持病を持つ者
- ・自己負担額 3200円程度
- ・要予約

《休診・診療時間変更のお知らせ》

みなさまには、大変ご迷惑をお掛けしますが何卒、ご理解下さいますようお願い申し上げます。

- 8/24(土) …11:30診療終了
- 8/31(土) …第5土曜日休診
- 9/14(土) …臨時休診
- 10/12(土) …臨時休診
- 10/26(土) …11:30診察終了

《感染症の動向》

7月末から微減に転じていた**新型コロナウイルス**の感染ですが、後遺症で苦しんでいる患者は多く、症状は軽くなったとは言え安心は出来ない状態です。

と申しますのは、学校が夏休みに入り、観光など日本列島民族大移動があり、お盆明けの感染拡大が懸念されるからです。

現在流行している最新変異型「**KP.3**」は、**感染力自体はさほどではありません**。しかしこの型は、私たちが今までワクチン接種や感染して得た免疫をかわす力を持っています。これを「**免疫回避機能**」と言います。

従って、新型コロナウイルス感染症の第11波はお盆明けにピークになる可能性があるのです。

症状は、熱がない感染者がいたり比較的に軽症であったりするため、受診しない方や抗ウイルス薬を飲まなくなってしまう、その結果後遺症で苦しむ方も多く、高齢者や持病のある方については、引き続き重症化のリスクがあります。やはり、**混雑場所はマスクが必帯**です。